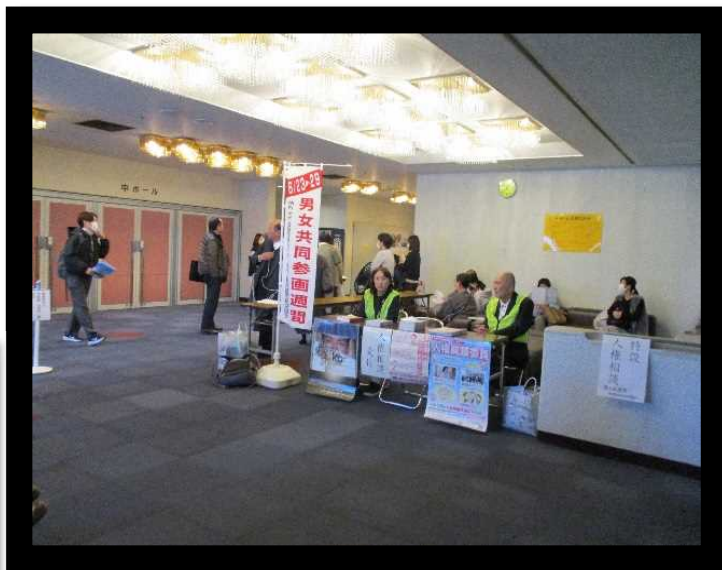


□人権週間啓発行事【明石人権擁護委員協議会】

人権意識の普及・高揚を図るため、毎年12月4日から12月10日までの人権週間に合わせて、人権啓発活動を行っています。

ここでは、令和6年11月に行われた、あかしヒューマンフェスタ及び同年12月に行われた、三木市総合隣保館文化祭での啓発活動の様子を紹介します。

■令和6年11月29日（金）、明石市民会館中ホールにて、「やさしいハナ ヲサカセマショウ 花が望んだやさしい世界を想いながら SNS で被害者や加害者を生まないために 私達ができること」が開催され、多くの参加がありました。



■当日は明石市の人権擁護委員が、参加者にリーフレットなど啓発物を声かけしながら手渡し、啓発活動を行いました。また、特設人権相談も開設しました。

■令和6年12月8日（日）、文化祭テーマを「つなごう 手と手 築こう 心のかけ橋を」とし、三木市総合隣保館文化祭が開催されました。会場では、開会行事・舞台発表、記念講演があり、460名の参加がありました。また、4日から8日に作品展示がありました。

当日は、三木市の人権擁護委員と法務局職員が参加者に声を掛けながら啓発活動を行いました。



□人権教室【洲本人権擁護委員協議会】

洲本協議会の活動では、令和6年度に開催した人権教室の模様をお届けします。

■洲本市の小学校で行われた人権教室では、3・4年生に対し、こども達の身近な生活の中で起こりえる「いじめ」をテーマにしたアニメ「勇気のお守り」を上映しました。

こどもたちは、いじめる側・いじめられる側・周囲の人のそれぞれの気持ちを考え、いじめの解決策を発表し合うグループワークを通じて、いじめが人権侵害であること、相手の気持ちに「気付き」お互いを思いやることがいじめの解決へつながるということを学びました。



■南あわじ市の幼稚園等で行われた人権教室では、いじめをテーマとした紙芝居「ぐらぐらもりのおばけ」の読み聞かせを行いました。園児たちは真剣な表情で紙芝居に聞き入り、いじめはしてはいけないこと、みんなで仲良く生活することが大切であることを学びました。

物語の後半では、園児たちが「手のひらを太陽に」の合唱や踊りを披露してくれました。

また、教室の最後には、人権イメージキャラクター人KEN まもる君、人KEN あゆみちゃんのウォークバルーンが登場し、とても賑やかで楽しい教室となりました。

■淡路市の小学校で行われた人権教室では、小学校2年生に対し、インターネットの使い方をテーマとした紙芝居「インターネットにご用心！」の読み聞かせを行いました。

こどもたちは、インターネットを使う上で守らなければならないルール、自分で気を付けるべきことを学び、時には、インターネットは危険なものにもなり得るものであることを学びました。

